

## 5 位置図（鶴見川水系）



## 6 アクセス・問合せ

### 恩廻公園調節池管理棟

〒215-0022 川崎市麻生区下麻生3-1-1

利 用 時 間：午前8時30分から午後5時まで

休 館 日：月曜日・年末年始（ただし月曜日が祝日の場合は翌日）



### 恩廻公園調節池の紹介ページ



トンネル  
内の施設  
見学は



調節池カードを管理棟で配布中



調節池カード

神奈川県



KANAGAWA

# 一級河川 鶴見川（鶴見川水系）

## 恩廻公園調節池

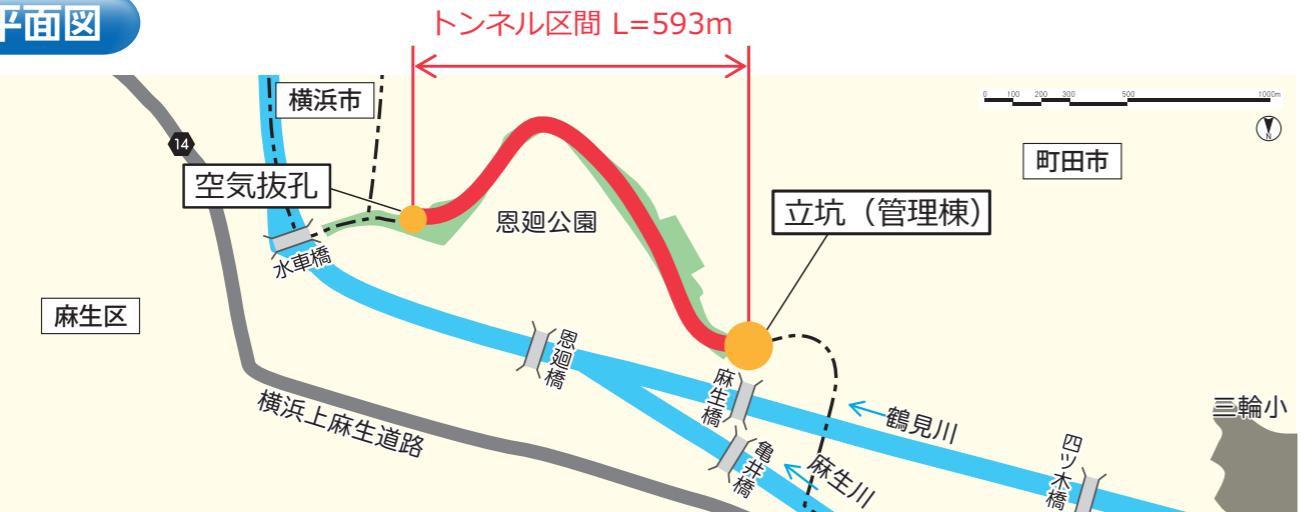
洪水調節施設（地下トンネル）



令和7年（2025年）10月撮影

# 恩廻公園調節池について

## 平面図



## 縦断図



## 1 概要

鶴見川流域では都市化が進み、大雨が降ると水は一気に川に流れ込むようになり、洪水被害の危険性が高まりました。そのため、公園（旧河川敷）の地下にトンネルを設置して、洪水を一時的に貯める施設を整備し、平成15年度（2003年度）に運用を開始しました。

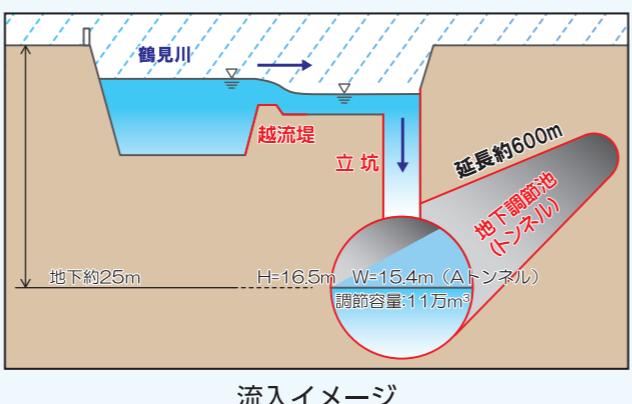
## 2 調節池データ

- ①河川名：一級河川 鶴見川  
 ②所在地：川崎市麻生区下麻生三丁目他  
 ③事業期間：平成5年度（1993年度）～平成15年度（2003年度）  
 ④施設計画諸元

施設	諸元
調節池	トンネル形式 地下トンネル形式
	施工方法 NATM工法
	調節容量 11万m³
	トンネル寸法 H=16.5m W=15.4m (Aトンネル) H=11.4m W=14.3m (Bトンネル)
	トンネル延長 593m

## 3 洪水調節の仕組み

- ①流入の仕組み  
 水位が上がった時、水が越流堤を超えて立坑を通って地下調節池（トンネル）に貯まります。
- ②流出の仕組み  
 水位が下がった後、貯めた水は立坑からポンプで再び川へ戻します。



## 4 施設紹介

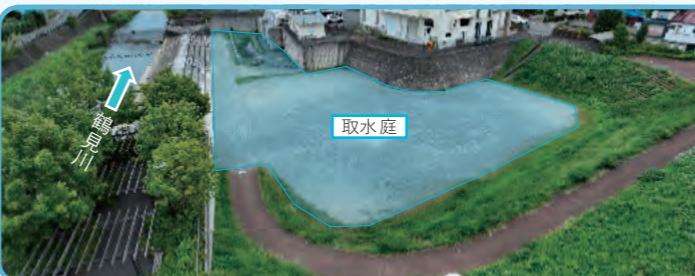
### ①越流堤

周囲の堤防より高さを低くした堤防で、洪水時に川の水を越流させ、調節池に水を流し込みます。



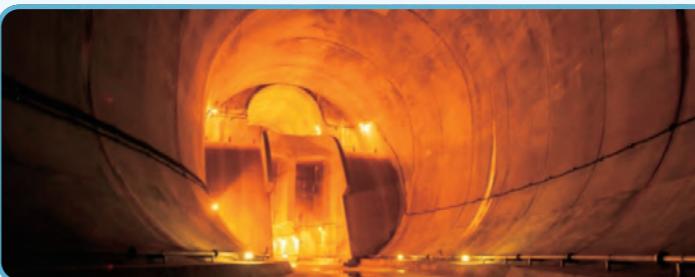
### ②取水庭

越流堤を超えた洪水は、取水庭に流れ込みます。取水庭には、洪水に含まれる土砂などを沈殿させ、立坑内に流れ込む水を緩やかにする役割があります。平常時は公園として地域の方々に利用されています。



### ③流入ゲート・除塵機

取水庭に貯まつた水は、流入ゲートから地下へ流れ込みます。水と一緒に流れ込む木やごみなどは、除塵機により取り除きます。



### ④ウォーターシュート

流入ゲートから入り立坑を通った水は、地下7階からトンネル内に流れ込み、一定の水位を超えると、地下5階のウォーターシュートからトンネル内へ流れ込みます。



### ⑤トンネル

流入ゲートから流れ込んだ水は地下トンネルに貯まります。1時間あたり50mmの雨が降ると、84分で満水になります。



### ⑦車両リフト

トンネル内の補修などに使用する工事用車両などを乗せるエレベータです。立坑の中を地上1階から地下7階（約42m）まで移動できます。



### ⑥ポンプ

トンネルに貯まつた水は鶴見川の水位が下がった後、立坑からポンプによって、川へ戻します。トンネルが満水になった時、立坑から川へ水を戻すには48時間（2日間）かかります。

